授業日 2022/06/30

作成日 2022/06/30

応用情報処理IV　第12回課題

氏名　荒金　彰

学籍番号　12000555

所属　文学部哲学専攻3年

問：Web2.0について具体例を交えて説明せよ。

Web2.0は、Web1.0と比較することで理解できる。

Web2.0は、それまでのWeb1.0までにはなかった環境を、Web利用者（作成者・閲覧者）に提供した。

**Web1.0**

　作成者がWebページを公開し、Webページのデータのコピーを閲覧者がダウンロードすることで情報がやり取りされる。

**Web2.0**

　Aが作成したWebページの一部箇所に、他のBが作成した特定のWebページを表示することができる（GoogleMap）。あるいは閲覧者に最適な任意のWebページを表示することができる（GoogleAdSense）。これら全てを可能にしたのは、ハイパーリンクという機能である。

　Web2.0では、例えば、適当なHTMLコードを埋め込むことで、GoogleMapの特定の部分を自分のページに表示できる。他に、GoogleAdSenseでは、適当なHTMLコードを埋め込むことで、ページの閲覧者に対応したページを動的に選別して表示できる。

SNSもWeb2.0に含まれる。

**Web1.0とWeb2.0の比較**

Web1.0におけるWebページ…静的な掲示物に相当（多が一を閲覧する）。

Web2.0におけるWebページ…動的な広場に相当（多が多を閲覧する）。常に更新される情報が一箇所に集約され、人と情報が出会うことが容易になった。

Web1.0からWeb2.0への変革は、それまで点在していた家が集合して都市を建設した変革に相当する。

**Web2.0のメリット**

**◆Webページ作成者・管理者側（他人のページを自分のページに表示する側）**

・自ら作成しなくても、他人が作成したコンテンツを表示できる。

（他人の力を借りて自分のWebページを作れるようになるため、Webページの完成度が向上する。）

**◆Webページ作成者・管理者側（自分のページを他人のページに表示する側）**

・自ら拡散しなくても、他人が自分のページを閲覧者に表示して紹介してくれる。

（1ページあたりの閲覧数が上昇する。）

**◆Webページ閲覧者側**

・自ら努力して探さなくても、自らの関心に適したより多くのWebページに出会うことができる。

・一つのWebページから他のWebページへの移動が容易になる。

**可能なWeb3.0**

私が考えうるいくつかのWeb3.0を列挙してみる。

・閲覧者と編集者の区別がないモデル（支配者と臣民の区別がない民主主義社会に相当）

・個々のWebページの境界がないモデル（国境がない世界政府に相当）

・インターネットとインテラネットの境界を時に応じて自由に設定できるモデル

・部分と全体の区別がないモデル（フラクタル構造、具体例は思い浮かばない）

・所有の概念がないモデル（共産主義社会に相当）

・現在のWebページの位置にそのまま人間が据え置かれるモデル（直接接続、物理的距離概念の撤廃）

・市場の概念がないモデル（想像がつかない）

・並行宇宙のように異なる法則・ルール・秩序をもつ複数のネットワーク空間の設立と、それらの間の自由または制約的な移動

・そのほか